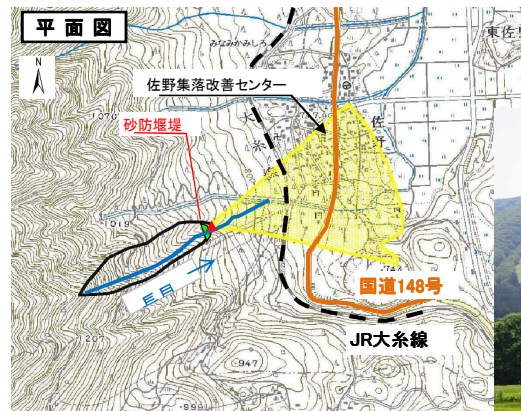


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等	(砂)長見山沢北			
事業毎の通番		9	市町村名	白馬村	箇所名(ふりがな)	佐野北(さのきた)		
事業概要	事業目的	長見山沢北は流域面積0.09km <sup>2</sup> の溪流である。氾濫想定区域内には人家57戸、第一次緊急輸送路の国道148号、避難場所に指定されている公民館及びJR大系線等の保全対象がある。長見山沢北の流域では溪岸浸食が進行しており、土石流発生時には甚大な被害をもたらす恐れがあるため、速やかな土砂災害対策が必要となっている。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家57戸(土砂災害警戒区域)、国道148号(第1次緊急輸送路)、佐野集落改善センター(避難場所)、JR大系線等						
	着手年度	H27	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	H32	費用対効果	18.9	国庫	150,000	県債	12,000
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			300,000	6,450	5,160	30,000
年度事業内容(主な工種)	調査、測量、設計 一式			11,300			1,290	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家57戸、国道148号、公民館、JR大系線等を土砂災害から保全						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	【保全対象】 人家57戸 【保全公共施設】 国道148号、JR大系線、村道、佐野集落改善センター 【保全災害時要援護者関連施設】 なし 【避難場所・避難路】 佐野集落改善センター、国道148号(第1次緊急輸送路)					評価	A
	重要性	【災害履歴】 なし 【交通影響】 国道149号(第一次緊急輸送路)、JR大系線 【地域防災計画上の位置づけ】 第一次緊急輸送路、避難場所					評価	B
	効率性	【費用対効果】 B/C=13.89 【早期効果発現】 事業期間:H27~H32(6年) 【工法等比較検討】 堰堤配置・構造等について比較検討を実施 【総合調整】 関係機関(国有林及び治山等)と調整済み					評価	A
	緊急性	【地形・地質、流域植生】 地質:脆弱な第三紀層 植生:放置林 【勾配】 16° 【土砂整備率】 0%(未整備) 【土砂災害防止法】 指定済み(特別警戒区域有り)					評価	A
	計画熟度	【情報共有】 白馬村に説明済み 【地域要望】 地元要望有り 【地域合意】 事業目的について合意形成が図られている(地元要望有り) 【住民との協働】 土砂災害の防災訓練を実施済み					評価	B
	部意見	当該溪流の保全対象には、人家多数の他、緊急輸送路、避難場所が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	保全対象に人家、国道、JRがあることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価		
				○	A			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



全景写真



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	長見山沢北の流域は、溪岸浸食が進行しており、土石流発生時には保全対象(人家57戸、国道148号、避難場所、JR大系線等)に甚大な被害をもたらす恐れがあるため、速やかな土砂災害対策が必要となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該地域は、地質が脆弱であることから、過去より砂防事業が数多く進められている。そのため、地域住民は砂防事業に対して深い関心をもっており、当該溪流においても、地域住民から砂防事業推進の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	白馬村に事業内容について説明を実施。今後地区住民を対象とした説明会等を実施していく予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	無し
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画し、周辺環境への影響を抑えることも観点に、今後詳細な検討を行う予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により溪流の安全度が高まり、民生の安定が図られる。
⑦その他	砂防指定地申請予定

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 36.628625  
東経:E 137.837734